

## 巻 頭 言



新潟県知事 米山 隆一

# 世界に開かれた新潟づくりに向けて

新潟県は、日本海国土軸流動と首都圏流動との結節点に位置するという地理的な特性や、国際港湾や国際空港を有することなどから、日本海側の表玄関として大きく発展する基盤を有しています。

このような基盤に加え、本州日本海側で唯一、韓国、ロシア、中国の3つの総領事館を有する強みや、これまでの友好交流により培った人的ネットワークを活用して、北東アジアとの経済交流や文化・教育などの人的交流を進めてまいりました。

私は、新潟県の将来の発展に向けて、中長期的な視点から「現在と未来への責任」、すなわち「安全への責任」「命と暮らしへの責任」「教育への責任」「雇用への責任」「食と農を守る責任」、そして「住民参加への責任」、これらの6つの責任を果たすことが必要と考えております。

なかでも「雇用への責任」を果たすためには、地域の経済と雇用を支える地域産業の活性化や新たなビジネスの創出が必要です。

経済のグローバル化が進展する中、成長する海外市場を取り込むことは、県内企業にとっても重要な経営戦略の一つです。企業ニーズも踏まえ、県内企業が多く進出している中国の上海・華東地域や成長が続く東南アジア等における県産品の販路開拓・販路拡大を促進するため、県内企業の海外展開への支援のほか、県産品の認知度向上に取り組んでまいります。

また、関連産業の裾野が広く、交流人口の拡大につながる観光産業の振興も重要です。訪日外国人観光客が過去最高を更新し続ける中で、消費型から体験・交流型への旅行目的の変化が指摘されているところであり、本県ではアジアを中心とした各国に対して重点的にプロモーションを行うほか、近隣県、市町村とも連携し、広域観光周遊ルート等での旅行商品造成や情報発信に取り組んでまいります。

さらに、本県が世界に誇る歴史的遺産である「佐渡金銀山」の世界遺産登録に向けた取組を一層進めるとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを交流人口拡大の契機にしようという取組や文化プログラムの開催が県内各地で始まっていることから、市町村による海外チームの事前キャンプ誘致等の取組への支援を行うなど、世界に開かれた新潟づくりを進めてまいります。